

# 防災



中学校

高校

総合

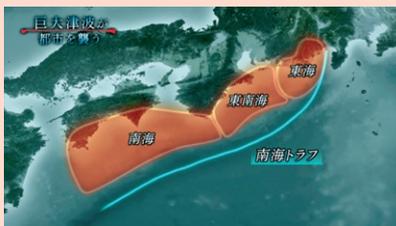
NHKスペシャル

49分

## 巨大津波が都市を襲う ～東海 東南海 南海地震～

(2011年放送)

### この番組の良さ



#### 私たちに今できることを考える

本番組は、今後想定される東海・東南海・南海の3連動地震での津波被害をいかに最小限に抑えるか、そしてそのために「今何をしなければならぬか？」を考える防災教育の資料として活用できます。

東日本大震災の凄惨な津波被害の映像から、津波の危険性をあらためて認識すると同時に、「どのようにして身を守るか?」、「地震が発生したらまず何をしなければならないか?」など、その対策について思考をさらに深めることができます。

#### 津波被害をシミュレーションで

南海トラフの3連動地震による巨大津波の影響をシミュレーションすることで、地域ごとの被害の規模が想定でき、巨大津波にどう備えるかなど課題が明確になります。また番組ではCGでの映像がその被害の大きさをリアルに伝えています。東日本大震災の経験を踏まえ、主体的に防災について考え取り組むきっかけとなります。

### 番組活用のポイント

#### 想定外の巨大津波に備える

東日本大震災での想定外の津波被害により、8年前に国が作成した南海トラフ（東海・東南海・南海）の3連動地震による津波被害の想定が見直しを迫られています。

沿岸の都市では、巨大津波の対策が取られていないところが過半数を越えています。そのような現状で、想定を超える巨大津波にどう備えるか、今私たちにできることは何なのかなど、防災意識を高める手立ての一つとして、本番組が活用できます。

授業での活用については、国や自治体だけの取り組みでは全体の防災力向上につながらないという点を意識し、企業やグループ、個人での防災に対する取り組みを強化することに焦点を当てて取り組むことで、巨大津波に対して必要な防災のイメージを膨らませることができるでしょう。具体的には、防波堤建設などハード面だけでの対策では不十分であり、私たち一人一人の取り組みなどのソフト面が、全体の防災力の向上につながることを理解することが重要です。

#### 南海トラフのプレート構造から学ぶ

番組では、巨大津波発生メカニズムを、南海トラフのユーラシアプレートとフィリピン海プレートの図によって、わかりやすく解説しています。また発生した津波によって想定される被害の状況をCGで表現しています。

東日本大震災後、津波が巨大化した要因として、海溝軸付近でのプレートの移動が確認されたことから、今後、南海トラフのプレートがどのくらい動くかが巨大津波発生の焦点となることを理解しておくといよいでしょう。このことは津波に対する防災教育を進める上でも重要なポイントになってきます。

(森 浩三)

学習展開例

授業時間 100分

# 想定される巨大津波 「今できることは何か」を考える



時間配分	学習活動	教師の支援
15分	<p>①巨大津波が都市を直撃した場合、どのような被害が想定されるか考え発表する。</p> <p>②番組を視聴する。・気づいたことや感じたことをメモする。</p>  <p><b>視聴</b> ・オープニング ・大震災の津波被害の様子 (開始～3分16秒)</p> <p>③映像で見た被害の大きさと、想定していた津波の被害との差について意見を出し合う。</p>	<p>○イメージしにくい場合は、自分たちの生活エリアでの津波被害を考えてみる。 (被災した生徒には配慮が必要です)</p>  <p>・CGによる津波被害の様子</p> <p>○視聴後、出された意見を整理し、津波被害に対して考えられる課題をまとめる。</p>
35分	<p>④番組を視聴する。</p> <p>・南海トラフによる3連動地震の想定される被害の大きさを知り、それによってもたらされる課題を考える。</p> <p>・プレート移動による巨大津波の発生するメカニズムを知る。</p>  <p>・南海トラフの3連動地震のメカニズム (3分16秒～24分26秒)</p> <p>⑤気づいたことなどの意見交換をする。</p>	<p><b>視聴のポイント</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地殻変動が津波につながる</li> <li>・シミュレーションでの被害想定、津波の大きさ</li> <li>・大都市を津波が襲うと何が起きるのか?</li> <li>・想定を超える津波により見えてくる弱点</li> <li>・海拔ゼロメートル地帯の危険性</li> <li>・津波被害を拡大させる道路、河川</li> <li>・想定を超える津波に対する行政の対策など</li> </ul> <p>○東海・東南海・南海の3連動地震のメカニズムについて理解を深めるため、関連資料等で補足説明する。</p>
15分	<p>⑥番組を視聴する。</p> <p>・津波から従業員を守るために企業がどのような取り組みをしているのか考えながら視聴する。</p>  <p>・巨大津波による企業の危機感 (24分26秒～32分00秒)</p>	<p>○巨大津波の想定される被害に対して、臨海部の企業がどのような危機感をもっているか着目する。</p> <p>○企業としてまずできることは何なのかを考え視聴させる。</p> <p>○企業の抱える課題について 気づいたことを数人に発表させる。企業の抱える課題を明確にする。</p>
30分	<p>⑦番組を最後まで視聴する。</p>  <p>・私たちに今できることは (32分00秒～終わり)</p>	<p>○巨大津波に備えるために動きだした住民など、自分ならどうするか考えながら視聴させる。</p> <p>○自分たちに今できることを話し合い、意見を発表させ整理する。</p>
5分	<p>⑧私たち一人一人が今日から実践できる防災への取り組みを確認する。</p>	<p>○想定される最悪の事態を最小限に抑えるために、地域住民のつながりや、一人一人の日常的な取り組みが重要であることを確認する。</p>

コラム

南海トラフの巨大地震に関する津波高、浸水域、被害想定公表について

南海トラフ(東海、東南海、南海)の3連動地震に関する情報については、内閣府の防災情報のHP ([http://www.bousai.go.jp/nankaitrough\\_info.html](http://www.bousai.go.jp/nankaitrough_info.html))に掲載される「南海トラフの巨大地震に関する津波高、浸水域、被害想定」の報道発表資料を活用するとよいでしょう。合わせて「東海地震、東南海、南海地震対策の現状について」のHPを活用することで、様々な課題を明確にでき、防災への意識をさらに高めることができるでしょう。